



てんかんセンター巡り 第33回



福岡山王病院 てんかん・すいみんセンター

施設概要

住 所	〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目6番45号
電 話	092-832-1100 (代表)、092-832-1226 (予約専用)
診 察 日	月曜～土曜
診 察 時 間	午前9時～午後1時 午後2時～午後5時
受 付 時 間	午前8時～午後12時30分 午後1時30分～午後4時30分
病 床 数	199床 (全室個室)
診 療 科 案 内	http://f-sanno.kouhoukai.or.jp/medical/

てんかんセンター外来 月曜～土曜日 要予約

日本てんかん学会専門医 4名 (うち非常勤1名)

ホームページ <http://f-sanno.kouhoukai.or.jp/infor/department/epilepsy>

施設の特徴

当センターは2012年2月に開設され、2016年1月より全国てんかんセンター協議会に入会しています。発作がてんかんか否かの診断、全般てんかんなのか焦点てんかんなのか、などのてんかん分類の診断、年齢や性別を考慮した抗てんかん薬の導入、難治性てんかんの薬物調整やてんかん手術治療を行っています。センターの新患として年間約500

人以上が受診されています。

外来の脳波だけでは、てんかんか否かの診断、てんかん分類の診断がつかない場合には、2～3日連続して脳波を記録し続ける長時間ビデオ脳波モニタリングが必要になります。また、てんかん手術の術前検査としても長時間ビデオ脳波モニタリングは必須で、この場合は1週間ほど連続で検査を行う場合があります。長時間ビデオ脳波モニタリングの入院期間を少しでも快適に過ごすために、海の見え



JEPICA
Japan Epilepsy Center Association
全国てんかんセンター協議会



船浮かぶオーシャンビュー

るモニタリング専用の個室と美味しい食事を用意しています。個室にはトイレ、テレビ、付き添いの方用のソファベッドも装備されています。当院では年間60件ほどの長時間ビデオ脳波モニタリングを実施しています。

てんかん手術は側頭葉切除術はじめ、側頭葉以外の切除術、迷走神経刺激装置設置術を行っています。手術の適応や手術法を決めるにあたっては、3Tの高性能MRI、PET、イオマゼニルSPECT、脳磁図（脳磁図検査に関しては九州大学病院に依頼）、高次脳機能検査などの結果を元に、てんかん専門医、脳波検査技師、看護師、ソーシャルワーカーなど多職種で十分に話し合っ、患者さん個人にとってどの治療法を選択するのがベストなのかを判断しています。てんかんの手術は年間30件ほどです。

てんかんは薬で治す、手術で治すというだけでなく、生活背景、精神状態など、包括的な視点から診る必要のある疾患のため、今後とも地域との連携を視野に入れた診療ネットワークの構築を目指していきたいと考えています。

受診される方々へ

当センターでは月曜から土曜日まで外来を行っております。初診の場合は前医からの紹介状をお願いしていますが、紹介状をもらうのが難しい場合はご相談ください。てんかん発作の出現が満足いくレベルまで安定してき

た場合には、紹介元や近隣施設への通院をお願いしています。

長時間ビデオ脳波モニタリングやてんかん手術で入院する場合には、原則的に個室料金が発生します。また、長時間ビデオ脳波モニタリング中に大きな発作を生じる可能性がある場合は付き添いをお願いしています。

(センター長 重藤寛史)



モニター室



エントランス

